

＜発電所設置にあたり＞

- 東京発電では企業理念として「新しい価値を創造し、豊かで持続可能な社会づくりに貢献します」を掲げております。
- 「尾瀬片品発電所」につきましても発電に加え、新たな価値を提供し地域に貢献しよう取り組みます。
- 以下の“観光”“教育”“防災”の拠点となり、地域に開かれ・必要とされる発電所となることを目指してまいります。

＜完成予想図＞



注：設計段階のイメージ図で変更することもあります。

- 【諸元】 発電所出力 678kW（年間計画発生電力量：約3,400MWh）※一般家庭約1,100世帯相当
- 【工期】 2021年4月着工 2023年4月竣工予定
- 【所在地】 群馬県利根郡片品村大字土出1318

＜地域共生としての3つの取り組み＞

（1）観光としての立ち寄りスポットとして

片品村にありデザイン性のある当発電所を、地域の方や地域を訪れる方々の立ち寄りスポットとして広く知っていただけるよう弊社ホームページ等へ掲載紹介していきたいと考えております。また、渓流を眺めながら休憩をとっていただけるカフェのようなスペースを発電所構内に設けます。

（2）再生可能エネルギーの学びの場として

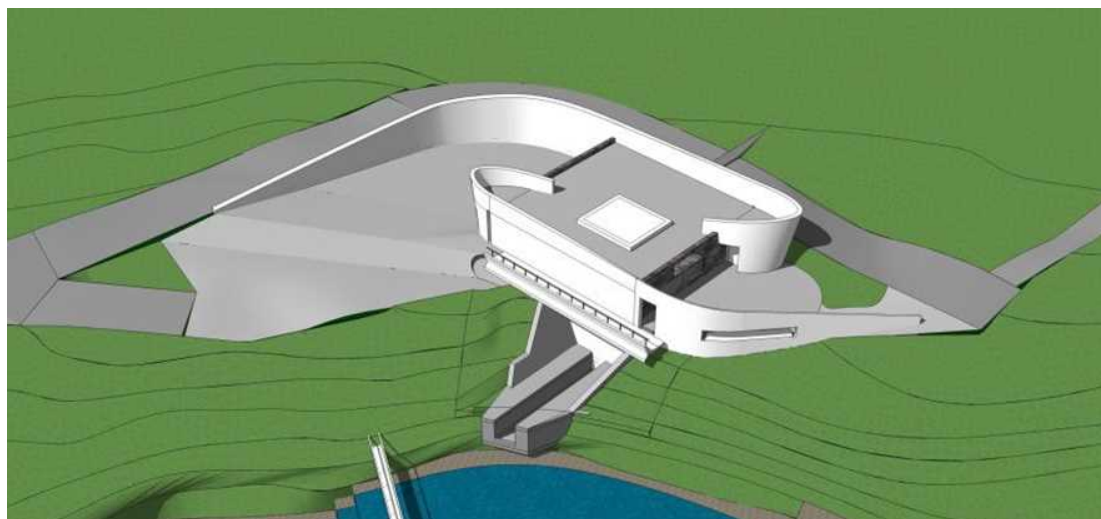
発電所建屋壁面に窓を設け、内部の発電の様子を見学することができる設計となっております。渓流の水が水車を回して発電し渓流に戻されていく、一連の流れを見ることができ、再生可能エネルギーとしての水力発電の仕組みを学べる場として活用いただけます。

（3）非常時の防災拠点として

地震や台風等の自然災害が発生した際は広域停電等も想定されます。そのような場合には独自に地域電源として携帯電話等のバッテリーへの充電や一時避難場所としても利用できることも目指します。

発電所建屋の全体図

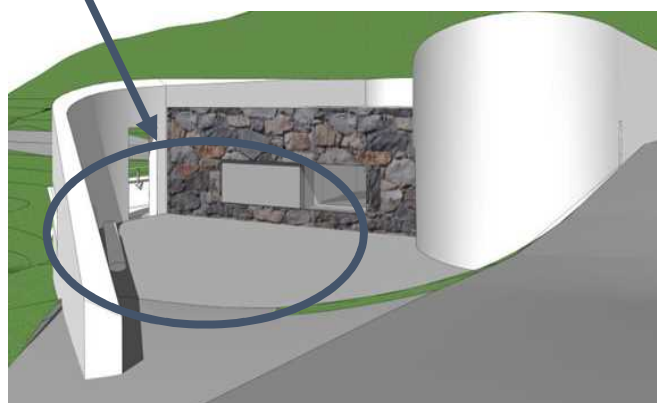
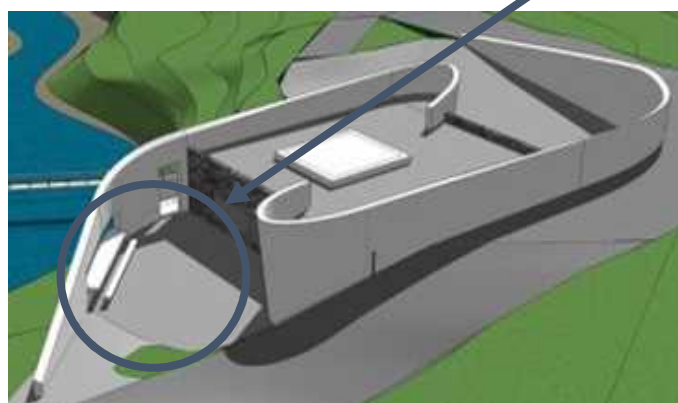
下流側



上流側

尾瀬片品村車沢の美しい自然の地形にマッチする曲線を用いたフォルムの発電所とし環境との調和をはかりました。

休憩できるカフェのようなスペース



見学窓

